

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課			
		実施期間	H19 ~	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

・本県の果樹生産は、恵まれた気候や立地条件、高い技術を活かし、りんご「シナリップ」やぶどう「クイーンルージュ®」などポテンシャルの高い県オリジナル品種を中心とした生産が進んでいる。
 ・高齢化や担い手の減少から、5年間で樹園地面積は6%、販売目的の果樹経営体数は約20%減少しており、生産基盤を維持・強化し、産地力の向上を図る必要がある。

2 事業目的

県オリジナル品種の品質向上や産地基盤の強化を図り、「日本一のくだもの王国づくり」を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①果実産出額の増加**
 ・県オリジナル品種の単収増や栽培技術の平準化等を図るため、JAなどの技術者を対象にした現地研修会を実施
 ・地域計画等を基にした果樹園の再生を進めるため、基盤整備事業等の実施
- ②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度栽培の普及推進**
 ・施肥管理や凍害対策等の栽培技術の平準化を図るため、JAなどの技術者を対象にした現地研修会の実施
 ・県内の樹園地継承優良事例の普及拡大を図るため、メディアによる周知等を実施
- ③種無し・皮ごと食べられるぶどう等の栽培面積の拡大**
 ・「クイーンルージュ®」等の生産拡大を進める、新規就農者等向け栽培管理動画の配信
 ・種無し・皮ごとぶどうの品質向上や栽培技術の平準化等を図る、技術者向け現地研修会の実施
 ・栽培者等の生産意欲の高揚を図る、種無し・皮ごとぶどう生産振興大会の実施
 ・醸造用ぶどう栽培技術の高位平準化を図る、生産者向け現地研修会の実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	ぶどう産出額	億円	418	419	↗	470	↗	427	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における、ぶどうの産出額（令和5年度：427億円→令和9年度：453億円）の初年度である令和5年度は427億円を目標とする。	
②	りんご高密度植栽培面積	ha	590	603	↗	621	↗	620	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和5年度：620ha→令和9年度：680ha）の初年度である令和5年度は620haを目標とする。	
③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	ha	139	159	↗	181	↗	216	未達成	「クイーンルージュ®」生産計画における栽培面積目標（令和5年度：216ha→令和9年度：249ha）の初年度である令和5年度は216haを目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2021 (R3)	870	2022 (R4)	904	2023 (R5)	935 (県推計)	2027 (R9)	945

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R5年度	0	4,021	0	4,021		2,382	2.5
R4年度	0	2,807	0	2,807		1,971	2.5
R3年度	0	2,836	0	2,836		1,390	1.5

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

7 主な取組実績と成果

①果実産出額の増加

- ・技術者を対象にした現地研修会を実施し、県オリジナル品種の品質向上を図った。
 - 果樹栽培技術研修会の開催（13回）
- ・補助事業を活用した産地の基盤整備や改植の推進により、果樹園地の生産力向上を図った。
 - 果樹棚等の整備（21.5ha）



「クイーンルージュ®」収穫前管理研修会

②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度栽培の普及推進

- ・高密度栽培における災害対策や栽培技術の研修会を実施するとともに、高密度栽培導入ガイドを作成し、技術者の指導力向上を行い、栽培面積の増加につながった。
 - りんご高密度栽培基礎セミナー（3回、計37名）
 - 気象災害に強い果樹産地づくり研修会（1回、42名）
 - りんご高密度栽培導入ガイドの作成（4,000部）
- ・県内の樹園地継承の優良事例を、ラジオによる配信（4回）や広報誌等により周知し、取組への誘導を図った。



気象災害に強い果樹産地づくり研修会

③種無し・皮ごと食べられるぶどう等の栽培面積の拡大

- ・生産拡大を進める新規就農者等への栽培管理動画を作成、配信し、基本的な栽培技術の普及を推進した（2動画）。
- ・新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会を開催し、品質・単収の高位平準化を推進した（2回、115名）。
- ・「2023長野県ぶどうフォーラム」を開催し、栽培者等の生産意欲の高揚を図った（1回、324名）。
- ・醸造用ぶどう生産者の栽培技術向上に向けて、各地域での指導会を実施した（7月～2月、7回）。



2023長野県ぶどうフォーラム

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ぶどう産出額	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
技術者向けの栽培研修会や長野県ぶどうフォーラムにより、生産者の栽培意欲を高めるとともに、補助事業等により栽培に必要なぶどう棚の整備が進んだことで、R5年度もぶどう栽培面積は増加しており、ぶどう産出額の目標値を上回った。							
指標②	りんご高密度栽培面積	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
果樹経営支援対策事業による改植の実施や気象災害に強い果樹産地づくり研修会等の開催により、高密度・新しい化栽培の導入が進み、目標値を上回った。							
指標③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
JAなどの技術者向けの栽培研修会や長野県ぶどうフォーラムの開催により、生産者の栽培意欲を高め、栽培面積は前年の113%まで増加したが、シャインマスカットの栽培意欲が依然高く、目標値の84%にとどまった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・りんご高密度栽培面積やぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積が増加してきた一方で、着色不良や裂果など栽培上の課題も浮き彫りとなってきている。さらなる栽培面積の拡大を図っていくためには、これらの課題の解決が必須である。
- ・高齢化や担い手の減少により、5年間で樹園地面積は6%、販売目的の果樹経営体数は約20%減少しており、果実産出額の増加に向けて、生産基盤の維持・強化し、産地力の向上を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- りんご高密度栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の生産をより一層進めるため、安定生産に向けた技術向上や生産基盤の強化により、果実産出額を増加させ、産地力の向上を図る。
 - ・果樹生産者の栽培意欲の減退を防ぐ農作物盗難防止強化期間の実施
 - ・りんご高密度栽培における施肥管理や凍害対策等の栽培技術の平準化を図る現地研修会の実施
 - ・ぶどう「クイーンルージュ®」の単収増や栽培技術の平準化等を図るJAなどの技術者向け現地研修会の実施
 - ・栽培者等の生産意欲の高揚を図る、種無し・皮ごとぶどうフォーラムの実施

事業番号	09 04 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	信州果樹生産体制強化推進事業		512 千円	688 千円	1,113 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「りんご高密度植栽培」の推進強化対策事業	直接	高密度植栽培技術の高位平準化を推進するため、災害対策や栽培技術習得の研修会を実施 ・りんご高密度植栽培基礎セミナー（3回、計37名） ・気象災害に強い果樹産地づくり研修会（1回、42名）		
2	樹園地継承優良事例普及拡大事業	直接	県内の樹園地継承の普及拡大を図るため、優良事例をラジオによる配信や広報誌等により周知 ・ラジオによる配信（4回）、広報誌（7回）		
3	「なし」の生産基盤強化対策事業	直接	新規就農者等に対し、早期成園化や省力化が可能な樹体ジョイント仕立て栽培の導入を支援するため、現地検討会等を実施 ・樹体ジョイント仕立て栽培検討会（1回、51名） ・花粉確保対策研修会（1回、98名）		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	ぶどう「クイーンルージュ®」品質&認知度向上事業		- 千円	810 千円	1,033 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「クイーンルージュ®」栽培技術普及・定着事業	直接	品質・単収の高位平準化を推進するため、新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会を開催 ・栽培技術研修会の実施（2回、115名）		
2	「クイーンルージュ®」栽培管理動画配信事業	直接	栽培技術の高位平準化を推進するため、生産拡大を進める新規就農者等への栽培管理動画を作成、配信 ・栽培管理動画配信栽培管理技術数（2技術）		
3	種無し・皮ごとぶどう生産振興大会の実施	直接	栽培者等の生産意欲の高揚を図るため、「2023長野県ぶどうフォーラム」を開催 ・ぶどうフォーラムの開催（1回、324名）		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	地域に根ざしたワイン用ぶどう産地育成事業		- 千円	- 千円	236 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ワイン用ぶどう生産者の地域活動発展支援事業	直接	生産者の栽培技術向上に向け、地域特性や品種等を考慮した栽培研修会を各地域で実施 ・地域別栽培研修会（7回、140名）		
2	NAGANO WINE栽培情報プラットフォームを活用した各産地間の情報交換推進事業	直接	NAGANO WINEプラットフォーム会員の経営発展を後押しするため、栽培や経営等の情報交換会を実施 ・ワインぶどう栽培情報交換会（3回、239名）		